

八幡平市教育研究所重点研究 道徳部会実践研究発表

「主体的・対話的で深い学びの実現を図る教育課程の創造」
～「考え議論する道徳」の授業実践を通して～



八幡平教育研究所 重点研究 道徳部会

八幡平市立寺田小学校副校長

八幡平市立安代小学校教諭

八幡平市立西根第一中学校教諭

黒瀬 敬

糸屋明子

石黒崇敬

平成29年度「八幡平市教育研究所重点研究」 実施要領から

目 的

全体研究主題「『主体的・対話的で深い学び』」の実現を図る教育課程の創造—『見方・考え方』を働かせ、自ら考えともに学ぶ授業への改善を通して—をめざして、「道徳」「外国語・英語」の研究実践を深め、市内各小中学校へ研究成果の啓蒙を図る。



これを受けて・・・「道徳部会」の研究の方向性

「考え・議論する道徳」の授業実践を通して、

- ①採択することとなった教科書の研究を深め、活用計画例を提示する（カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れて）。
- ②教科化の趣旨を生かした授業モデルを提供する。

研究の歩み

計5回の部会開催を実施

	日時	場所	内容
第1回	5月30日 (火) 16時～	八幡平市役所 3階大会議室	<ul style="list-style-type: none">・ 計画立案・ 役割分担等確認・ 道徳科の趣旨についての学習
第2回	8月8日 (火) 9時～	八幡平市役所 2階相談室8	<ul style="list-style-type: none">・ 中学校学習指導要領についての理解・ 授業実践に向けての事前研究・ 採択教科書についての計画等
第3回	9月12日 (火) 14時～	八幡平市立西 根第一中学校	<ul style="list-style-type: none">・ 授業実践及び研究協議 ※岩手地区道徳教育研究会授業交流会を兼ねる
第4回	10月17日 (火) 15時～	八幡平市役所 2階相談室8	<ul style="list-style-type: none">・ 授業実践の振り返り・ 教科書の活用例の作成
第5回	12月4日 (月) 15時～	八幡平市役所 2階相談室8	<ul style="list-style-type: none">・ 今年度の総括・ 市及び総合教育センターの発表会に向けての作業・準備

全体計画及び別葉の 作成について

カリキュラム・マネジメントの視点を取り入れて

全体計画作成手順

〈ステップ1〉

育てたい子ども像を明らかにする。



〈ステップ2〉

具体的な重点目標を設定する。



〈ステップ3〉

内容項目に関わるものを明らかにする。

本校では……

育てたい子ども像

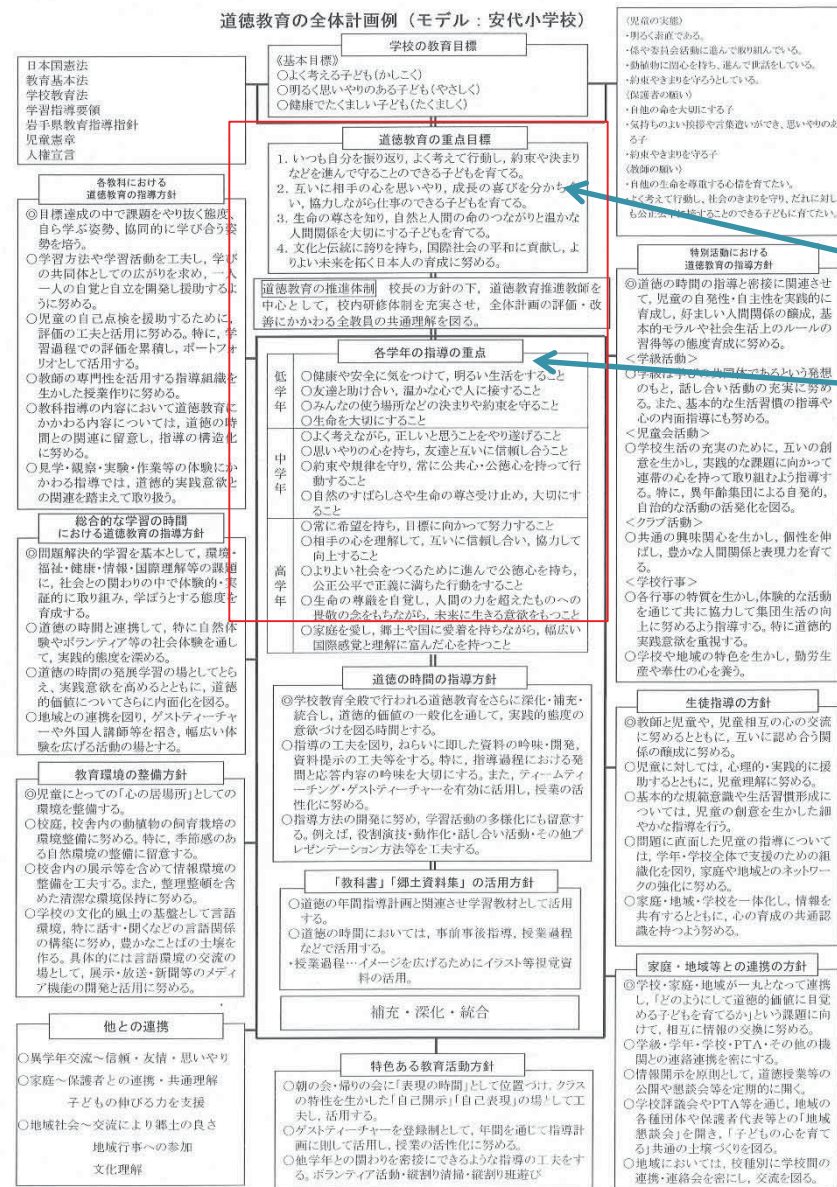
「善悪の判断・自立・自由と責任」「節度節制」

「親切・思いやり」「友情・信頼」も、
協力し合って解決できる子

「生命の尊さ」
自他の命を大切にできる子

「伝統と文化の尊重・国や郷土を愛する態度」
日本文化を大事にするとともに国際社会でも堂々とできる子

道徳教育の全体計画 (例 安代小学校)



道徳教育の重点目標

各学団の重点目標

道徳教育の重点目標

1. いつも自分を振り返り、よく考えて行動し、約束や決まりなどを進んで守ることのできる子どもを育てる。
2. 互いに相手の心を思いやり、成長の喜びを分かち合い、協力しながら仕事のできる子どもを育てる。
3. 生命の尊さを知り、自然と人間の命のつながりと温かな人間関係を大切にすることのできる子どもを育てる。
4. 文化と伝統に誇りを持ち、国際社会の平和に貢献し、よりよい未来を拓く日本人の育成に努める。

道徳教育の推進体制 校長の方針の下、道徳教育推進教師を中心として、校内研修体制を充実させ、全体計画の評価・改善にかかわる全教員の共通理解を図る。

各学年の指導の重点

低学年	<ul style="list-style-type: none">○健康や安全に気をつけて、明るい生活をする○友達と助け合い、温かな心で人に接する○みんなの使う場所などの決まりや約束を守る○生命を大切にする
中学年	<ul style="list-style-type: none">○よく考えながら、正しいと思うことをやり遂げる○思いやりの心を持ち、友達と互いに信頼し合う○約束や規律を守り、常に公共心・公德心を持って行動する○自然のすばらしさや生命の尊さ受け止め、大切にする
高学年	<ul style="list-style-type: none">○常に希望を持ち、目標に向かって努力する○相手の心を理解して、互いに信頼し合い、協力して向上する○よりよい社会をつくるために進んで公德心を持ち、公正公平で正義に満ちた行動をする○生命の尊厳を自覚し、人間の力を超えたものへの畏敬の念をもちながら、未来に生きる意欲をもつ○家庭を愛し、郷土や国に愛着を持ちながら、幅広い国際感覚と理解に富んだ心を持つ



授業モデルについて

考え議論する授業づくりを通して

1 葛藤資料の場合

導入	<p>【問題と出会う段階】</p> <p>自己の体験的なものを想起させることから始めることを布石とし、実感を伴って道徳的価値を理解するための導入の工夫を目指す。</p>
展開①	<p>【読み物資料等の問題場面を中心に共感的・分析的・批判的に理解を深める段階】</p> <pre> graph TD A[人間の弱さへの共感] -- 「しかたがないよなー」 --> B[分析的に掘り下げる (その行為を支える思い)] C[既得の道徳的価値をもとにした批判 (正しいと思う感情)] -- 「でも、責任を果たさないと・・・」 --> D[分析的に掘り下げる (その行為を支える思い)] B --> E{葛藤・揺れ} D --> E E --> F[いかに判断すべきか！？問題解決へ] </pre>

1 葛藤資料の場合

展開② 【投影的に問題解決を行う段階】（中心発問）

①自己を見つめる



②多様な考えに触れる



③よりよい生き方を自己決定



振り返り

自分だったらどうするか

議論の場面。既得の価値の深化・変容、自己との関わりの問い直し、道徳的価値に基づいた多様な考え方の獲得。

自己の決定を支える信念は何なのか、他者との関わりはどうなのか、納得解となり得るのか。

終末 【実践に移そうとする意欲を後押しする】

余韻を残す。

2 授業モデルに沿った指導案の作成

5 本時の展開

過程	学習活動 (○発問・予想される生徒の意識)	指導上の手立てと支援
導入 5分	<p>1 アンケート結果から学級の意識を確認する。</p> <p>(1) リーダーの理想像は。</p> <p>(2) 全校のリーダーとなってどんなところをよりよくしていきたいか。</p> <p>(3) リーダーとしてやり過ぎてよかったことはどんなことか。</p> <p>(4) 逆に、大変だったことは何か。</p> <p>2 資料の範読を行う。</p>	<p>・すでにもっている価値をみんなで確認する。</p> <p>・生活や生徒会三本柱、伝統など、これから様々な面でリードする主体であることを確認する。</p> <p>・(3)(4)はこれまでの経験を振り返ったもので、これらのギャップから本時の課題意識につなげる。</p> <p>・資料を配付する(途中で切っている)。</p>
展開 42分	<p>リーダーとして大志くんはどうすればよかったのか。</p> <p>3 主人公の葛藤について考える。</p> <p>○大志くんはどのようにして「やり直し」を言えなかったのか。</p> <p>・どうせ言っても聞いてくれない。協力してくれない。</p> <p>・逆に何か言われたり、思われたりするのではないか。</p> <p>・やる気なし雰囲気ですめてしまった。</p> <p>・みんなの個人的な気持ちに配慮してしまった。</p> <p>・自分も何のためにやるのかわからなかった。</p> <p>○大志くんの果たさなければいけない責任は何。</p> <p>・諦めずみんなをまとめる。</p> <p>・やる気を出させ、三送会を成功へ導く。</p> <p>・目標達成のために、意志を貫く。</p>	<p>・自分の経験を振り返りながら、主人公の弱さを共感的に理解できるようにする。</p> <p>・他人の考えにも共感できることがあるか確認する。</p> <p>・自分とは違う考えへの質問を促す。</p> <p>・主人公の葛藤の原因を簡単に確認し、中心発問へとつなげる。</p>

2 授業モデルに沿った指導案の作成

	<p>4 自分に置き換えてよりよい方向を考える。..</p> <p><u>◎この言葉の中、あなただったらどうする。</u>..</p> <p>(1) 自分の考えを記入しましょう。..</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標に向かって最後までやり抜く。それがみんなにとってもよりよいものとなるから。.. <p>(2) 班で互いに考えを発表し合い、意見交流してよりよい方向を考えましょう。..</p> <p>..</p> <p>..</p> <p>..</p> <p>..</p> <p>(3) 今深めた考えをもとに、本文の続きに、みんなに投げ掛ける台詞を入れましょう。..</p> <p>..</p> <p>5 資料の続きを聞き、振り返りを行う。..</p> <p>..</p>	<p>..</p> <p>..</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とる行動だけではなく、何のためにその行動をとるのか理由にもふれて記入させる。.. <p>..</p> <ul style="list-style-type: none"> ・議論を促し、自分の考え方の参考になったものを記録させる。.. ・共感の有無に関わらず、他者の考え方を理解するよう促す。.. ・議論の深まった班をとりあげ、全体の議論につなげる。.. ・数名に発表してもらおう。その発表の感想を聞いてみる。.. <p>..</p> <ul style="list-style-type: none"> ・班で交流し、数名に発表させ、学習の成果を確認し合う。..
<p>終 末 3 分</p>	<p>6 <u>当時キャプテンだった先輩の振り返りを聞く。</u>..</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・作文を聞かせ、本時を閉じる。.. ・学習プリント、資料を回収する。..

3 主人公への共感場面

T 「どうして『やり直し』と言えなかったのでしょうか？」



S 「いやな存在と思われてしまっし、嫌われなくなかったから言えなかったと思います。」

4 自我関与の場面

T 「あなただったら、どうしますか？」



S 「リーダーに選ばれた
からこそ、はっきり言う！」

S 「1人で抱え込まないで
相談するといいのでは？」



議論の様子

5 生徒の振り返りから

私はどちらかというところ「慎重に」「相談しつつ」という考えであったが、「自分から進んでやらなければいけない」という意見にも納得できた。生徒会執行部の一員ということもあり、私は主人公と同じでなかなか一歩踏み出せないことがしょっちゅうだが、自分の意見を主張することもまた大事なんだろうなと思った。今、西鈴祭に向けて取り組みをして……。

成果と課題

<成果>

- 授業モデルを作成したり、授業実践を通したりして、「特別の教科 道徳」について理解を深めることができた。
- 道徳教育全体計画例、別葉例、指導展開例を示すことができた。今後、八幡平市の小中学校で展開される道徳教育及び道徳の時間について、モデルを示すことができた。これにより市内各校で隔たりのない授業が展開されることになることを期待している。
- 授業実践をとおして、今求められている「考え、議論する道徳授業」「主体的に学ぶ道徳授業」の在り方を具体的に示すことができた。今後の授業づくりのイメージを市内の先生方と共有できたと考える。

<課題>

- ▲ 「評価」について研究を進めるまでは至らなかった。
- ▲ 郷土資料教材等の授業モデルについても考えていきたい。

これからも八幡平市の子どもたちの輝く笑顔のために

- **ご静聴ありがとうございました。**

